龍谷大学連携事業「まちづくり論」(R6年度報告等)

1. 事業概要

本市と龍谷大学の包括連携協定に基づく取り組み事業の一つであり、協働の知見を持つ職員の育成プログラムを軸として大学連携を進めることで、協働によるまちづくりを推進する。

今年度は、昨年度に引き続き実施テーマを「栗東市の魅力発信・PR(周知物の作成)」に変更し実施。本市からは、講義テーマとなる市のPRテーマ提供と講義内のグループワーク補助員を派遣し、大学からは、テーマに沿った周知物(動画やチラシ)を提供していただく。

2. 実施目的

●まちづくり課題に向き合う人材育成

人材育成の一環として職員を派遣することで、協働に対するスキル向上や課題の解決策の模索に繋げるため、人事課が主体となって取り組む。

●外部人材確保と地域で活動する学生人財の発掘

学生が講義を通じて本市の取り組みを学ぶことで、本市に関心を持ち、大学を通じた本市への参画やインターンシップを通じた本市職員への就職等により、本市のまちづくりに関わることが期待できる。また、大学職員や教員との連携強化により、本市事業への協力が期待できる。人事課、自治振興課、政策調整課、の3課が主体となって取り組む。

●学生作成の周知物の活用

栗東市の魅力や力を入れたいテーマについて、学生(若者)の視点から周知物を作成してもらうことにより、幅広い年代に関心をもってもらうことにつながる。

3. 出席者等(事務局除く)

【出席者】

●第1回～第14回

担当講師：龍谷大学社会学部 講師 渡邊悟史 氏

市職員：まちづくり人材養成プログラム参加者 2名

●第15回

担当講師：龍谷大学社会学部 講師 渡邊悟史 氏

市職員：審査員(人事課長、政策調整課長、自治振興課係長) 3名

まちづくり人材養成プログラム参加者 2名

【履修者(第15回参加者)】

龍谷大学社会学部生：13名

4. 講義スケジュール

回	日程	タイトル	担当	概要
1	9/19	オリエンテーション	渡邊先生、栗東市	講義概要 地方創生と栗東市の概要
2	9/26	まちづくりとは	渡邊先生、栗東市	まちづくりとは 市の魅力発見
3	10/3	ケーススタディ①	渡邊先生	
4	10/10	ケーススタディ②	渡邊先生	
5	10/17	ケーススタディ③	渡邊先生	
6	10/24	ケーススタディ④ グループ分け説明	渡邊先生	<u>Zoomでの市テーマ紹介を廃止し、学生への課題として資料提供し、希望テーマを選択</u>
7	10/31	ケーススタディ⑤ グループ分け発表	渡邊先生	グループ発表
8	11/7	グループワーク①	渡邊先生、栗東市	提出物説明、成果物内容・イメージ作成
9	11/14	グループワーク②	渡邊先生、栗東市	成果物作成、現場見学（撮影、取材等）計画作成
10	11/21	グループワーク③	渡邊先生、栗東市	ワールドカフェ、 現場見学（撮影、取材等）計画作成
11	11/28	グループワーク④	渡邊先生、栗東市	現場見学（撮影、取材等）計画作成、インターンシップ説明
★	12/2	栗東市に動画撮影 (チーム：ユーチューバー)	栗東市	栗東市内各所にて動画撮影
12	12/5	グループワーク⑤ (休講)	渡邊先生、栗東市	現場見学・インタビュー、現場 見学内容の反映
★	12/9	栗東市に動画撮影 (チーム：アップル)	栗東市	栗東市内各所にて動画撮影
13	12/12	グループワーク⑥	渡邊先生、栗東市	現場見学内容の反映、発表準備
14	12/19	プレ報告会	渡邊先生、栗東市	練習発表、提案内容の最終調整
15	1/9	報告会	渡邊先生、栗東市	提案発表、質疑応答、審査、まとめ

5. 実施内容

1 ページ目「2. 実施目的」に向け、令和6年度に実施した内容は以下のとおり。

- まちづくり課題に向き合う人材育成（まちづくり人材養成プログラム含む）
 - ・「コミュニティ」の観点から地域参画などについて学ぶ（龍谷大学社会学部「コミュニティ論」への参加）。
 - ・他課が抱える課題を学び、学生への説明資料を作成することで、所属を超えて課題解決に向けた考え方を学ぶ。
 - ・集合研修「栗東市観光まちづくり研修」を受講し、改めて栗東市の魅力について学ぶ。
 - ・学生のグループワークにファシリテーターとして参加することでファシリテートスキルを学ぶ。

- 外部人材確保と地域で活動する学生人財の発掘
 - ・「まちづくり論」において、本市インターンシップについての説明を実施。より実践的なまちづくりの現場を学んでいただき、本市への興味と地域活動への参画のきっかけとする。

- 学生作成の周知物の活用
 - ・本市提供テーマに対して、学生（若者）視点で周知物の作成をしていただき、担当課において積極的に活用していく。
 - ・学生から提出の合った周知物の使用方法等については担当課の判断による。

6. 実施結果

- まちづくり課題に向き合う人材育成（まちづくり人材養成プログラム含む）
 - ・実施内容を学習・実践していただき、様々な立場からの地域課題への向き合い方、協働に必要なスキルなどを学ぶことに繋がった。
 - ・栗東市の魅力や各課が推進する政策についての理解を深めるとともに、それを外部に発信する方法を考える機会になった。
 - ・栗東市の魅力を改めて学ぶ集合研修を行うことで、本市職員の栗東市の認識度向上に繋がった。
 - ・学生の前で市職員が説明、質問対応する機会が多々あり、対応力の向上だけでなく、関連する知識の習得にも繋がった。

- 外部人材確保と地域で活動する学生人財の発掘
 - ・次年度インターンシップに1名の参加希望があった。今後、各々が希望する実習内容や参加時期を把握のため、個別に希望内容を確認している。滋賀県立大学、コンソーシアム京都のインターンシップ生と連動したインターンシップが実施できるよう調整を進めていく。

●学生作成の周知物の活用

- ・テーマについては各課に募集。募集で集まった中から龍谷大学の担当講師と協議の上1つのテーマを選び、実施。今年度実施したテーマおよび作成された周知物は下記のとおりである。

テーマ	担当課	周知物
職員採用試験PR	人事課	動画

7. 令和7年度について

令和7年度に龍谷大学社会学部が瀬田キャンパスから京都深草キャンパスへ移転することに伴い、距離が遠くなり連携実施の負担が増すこととなる。しかしながら、これまでに構築してきた関係性を保ちたい思いもあることから、連携を失くすのではなく、縮小した形で連携を継続していく。

令和7年度については、年に1～2回程度、大学の講義に赴き、栗東市の紹介や人材確保につながるインターンシップの募集を行う予定である。なお、龍谷大学からの個別でのインターンシップの受入れは令和4年度から開始しており、実績は下記のとおりである。

参加年度	参加人数	採用試験受験人数	採用試験合格人数
令和6年度	2人	令和7年度以降に受験可能	
令和5年度	2人	1人	1人
令和4年度	3人	0人	0人
合計	7人	1人	1人